



佐倉市立根郷中学校

あしたむ

明日に向かって

R7. 10. 31 No. 7
発行責任者

文責

『“次”に向かって』

校長

10月10日に前後期入替式がありました。10日までは暑い日が続き、最高気温が30℃に迫る日もありました。しかし、10月14日から始まった後期には、前期の終わりからわずか3日しか経っていないにもかかわらず、一気に気温が下がり、25℃を下回る日が多くなりました。後期が始まって一週間ほどで20℃を下回る日も増え、まるで残暑から一気に冬が訪れたような感覚です。

季節の変わり目を迎え、巷ではインフルエンザなどの感染症も流行し始めています。急な気温の変化で体調を崩さないように気をつけ、手洗いなど日ごろから感染症予防に努めましょう。

さて、そんな中、10月22日には佐倉ハーモニーホールで合唱祭を開催しました。合唱祭に向けては、6月ごろから各学級で準備が始まりました。合唱曲を決め、個人や学級としての目標を立て、その目標の実現に向けて、歌声委員やパートリーダー、指揮者、伴奏者を中心に練習に励んできました。互いに協力しながら練習を重ね、ひとつの合唱を作り上げていく姿は本当に立派でした。

当日、ステージで歌っている生徒のみなさんの表情はとても生き生きとしており、一人一人が合唱に対して強い思いをもって歌っていることが伝わってきました。歌声の強弱やテンポ、雰囲気、表現の工夫など、クラス全員で考え、話し合い、協力して作り上げてきた成果が感じられる素晴らしい合唱でした。

合唱祭を終えた今、みなさんはどのような気持ちでしょうか。

やり遂げた達成感を味わっている人もいれば、「もっとできたのではないか」と悔しさを感じている人もいるでしょう。どのように振り返るかは人それぞれですが、そのどちらにも大切な意味があります。

目標を達成できたから意味があり、後悔が残ったから意味がないというわけではありません。大切なのは、結果に対して自分なりの「意味」を見つけ出すことです。その「意味」は、誰かに与えられるものではなく、自分自身で見いだすものです。そして、自分で見つけた「意味」は、成果であれ課題であれ、次の行動へとつなげる力になります。

合唱祭が終わった今、生徒のみなさんの「次」はすでに始まっています。今回の合唱祭で見つけた「意味」を、次の目標に向けて生かしてください。その積み重ねが、きっと「未来を切り拓く」力になっていきます。

これからも、さまざまなことに挑戦し、うまくいった経験も、うまくいかなかった経験も大切にしながら、その中にある「意味」を見つけ、自分自身の成長につなげていってほしいと思います。

11月 主な行事予定

※SC→SC相談日 9:00～16:00

多様→多様な学びの相談員出勤日

日	曜	校内行事	日	曜	校内行事
1	土		16	日	
2	日		17	月	2年生福祉学習 全校評議会 多様
3	月	文化の日	18	火	SC 多様
4	火	1,2年教育相談 3年定期試験③ SC	19	水	
5	水	1,2年教育相談 3年定期試験③ 多様	20	木	学年評議会・生徒委員会 多様
6	木	生活アンケート 多様	21	金	3年三者面談 多様
7	金		22	土	
8	土		23	日	勤労感謝の日
9	日		24	月	振替休業
10	月	試験前諸活動停止(～14日)	25	火	3年三者面談 SC
11	火	SC 多様	26	水	3年三者面談 多様
12	水	月例アンケート 自転車点検 多様	27	木	3年三者面談 多様
13	木	1,2年定期試験③ 給食なし 3年生薬物防止教室 多様	28	金	多様
14	金	1,2年定期試験③ 給食なし	29	土	
15	土		30	日	

生徒会役員選挙

10月2日(木)に生徒会役員選挙が行われました。立会演説会では、立候補者の演説を真剣に聞き、しっかりと考えて投票(投票箱、投票箱設置台、記載台は市の選挙管理委員会から本物を借用)することができました。投票は、選挙管理委員の指示のもとスムーズに行うことができました。

第29期生徒会役員を紹介します。

[生徒会長]	(2-1)		
[副会長]	(2-2)		
[本部役員]	(2-1)	(2-2)	
	(1-3)	(1-3)	(1-3)



合唱祭

10月22日(水)に佐倉ハーモニーホールにて合唱祭が行われました。どのクラスも練習の成果を十分に発揮し、本格的なステージでの発表を満喫しました。保護者の皆様の参観、ありがとうございました。

【最優秀賞】

3年1組

「信じる」



【優秀賞】

3年2組

「聞こえる」

【優秀賞】

2年2組

「命あるかぎり」



全国学力・学習状況調査結果における本校の結果考察

【国語】

全体的に、県平均・全国平均を上回る結果であった。どの観点でもバランス良く全国平均を上回っており、授業の中で予習をして授業に臨み、授業で理解を深めて読む力の定着を図ったことが表れたと思われる。しかし、「記述式」の問題においては、全国平均を下回る結果となった。発想力はあるものの、落ち着いて自分の考えや、筆者・作者が何を伝えたいか構成を考えて文章にまとめることが苦手な生徒が多いため、「記述」への抵抗感があつたためと考えられる。今後も読む力を伸ばす授業実践を考えながら、文章にまとめる力を高められるように、短いものでも文に書く機会を、授業の中で増やしていくことも必要だと考える。

【数学】

4項目全てで千葉県・全国の平均を上回る結果を得ることができた。特に「Dデータの活用」は、県平均より大きく上回り、学習内容の定着がうかがえる。一方、県・全国平均は上回ったが、他の領域に比べると「C関数」では数値が低い結果となってしまった。今後、ともなつて変わる数量の関係については、ミスが多かった問題を中心にもう一度振り返っていこうと考える。

「記述式」が県平均より高い結果を得ている。日頃から自分の考えを書かせる指導を大切にしてきた成果と言えよう。今後でもできるだけ自分の考えを書く場面を多く設定した授業を展開していきたいと考える。

【理科】

4つの領域すべてで千葉県・全国の平均を上回っている。特に「生命」を柱とする領域では大きく上回り学習の定着がうかがえる。「選択式」の問いの定着が高く、知識をよく積み重ねている。その反面「記述」する力などに課題がある。結果の考察・学習課題を自分のことばでまとめるなど、考えをまとめる場面をより多くすることや、意見の交流を通して自分の考えを深めるなどの取り組みを今後もより多く行う必要があると考える。